

顔面けいれんに対する自己フィブリン糊を
活用した微小血管減圧術

脳神経外科

毛利 正直



顔面けいれんとは、眼輪筋や口輪筋が発作的、間欠的に反復して収縮（ピクツク）するものです。病初期には片側の下眼瞼の収縮から始まり、次第に口輪筋に広がります。ほとんどの場合、頭蓋内血管による顔面神経の圧迫が原因と考えられています。発症後に眼科、内科、精神科を受診することが多いですが、どの科を受診したら良いかを迷われるケースも多いです。診断は、発症経過・視診と頭部MRI検査です。治療法としては、ボトックス注射と微小血管減圧術がありますが、適応となる内服薬はありません。当院ではボトックス注射は脳神経内科で行い、微小血管減圧術は脳神経外科で行い連携をとりながらの治療を行っています。具体的には微小血管減圧術は、全身麻酔下で病側の耳介後方に小切開と小開頭を行い、顔面神経を圧迫している血管を神経から剥離し元の位置に移動する手術です。手術でせっかく移動させた血管が再び神経を圧迫しないように固定しますが、当院では2018年から自己フィブリン糊を使用しています。具体的には手術の約1週間前に自己

血200mlを採取し、手術日までに当院に導入されているクリオシールシステムで自己フィブリン糊を作成し術中に移動させた血管の固定に使用します。従来のフィブリン糊製剤は供血者由来の製剤であり、感染や宿主反応、供血者の不足、高額、善意に依存するなどの問題があります。自己フィブリン糊は患者自身の血液から精製したものであり、それらの問題点を克服する画期的な方法です。片側の顔面のピクツキが眼瞼から口角まで広がり、顔面けいれんを疑う患者さんがおられましたら当院の脳神経外科に紹介していただければ幸いです。



6月 地域連携の会 開催報告

6月7日にANAクラウンプラザホテル富山において地域連携の会を開催いたしました。院内外から112名の方のご参加がありました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。昨年よりもさらに参加者が増えたことは喜ばしい限りです。会は盛況のもとに進み、ご参加をいただいた地域医療機関の先生方と有意義な話ができたと考えております。

特別講演は、本年度より当院院長に就任した家城より「富山市民病院が向かう先」と題して、今回の診療報酬改定も踏まえて当院が今後目指す方向を説明させていただきました。

これからも地域医療機関の先生方としっかりと連携を保ちながら、当院に求められる重要な使命を果たせるよう、職員一同努力をしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

特別講演

「富山市民病院が向かう先」

富山市民病院院長 家城 恭彦

このたびの診療報酬改定は、急性期・高度急性期医療および地域医療に力を入れている当院にとって、大変厳しい内容のものとなりました。すなわち、手術や重症度の高い医療により専念させ、需要の高い高齢者救急医療への過度な関与を低く評価するという、いわば急性期病院を「篩（ふる）いにかける」ようなものと言わざるを得ません。

これを受けて当院としては、地域医療支援病院としての「断わらない救急」は堅持しつつも、高齢者の感染症や心不全などの治療については、より早い段階での転・退院を目指さざるを得ないと考えております。この軌道修正に伴い、患者・家族の不利益や満足

度の低下が生じないよう、後方支援医療機関とのよりいっそうの連携強化と丁寧な説明が重要となります。急性期病院としての必要度の高い患者が自然と集まるブランド力を高め、地域の医療機関から積極的に紹介いただける信頼関係を築き、さらには医師・看護師など職員からも選ばれる魅力ある病院となること、今後の当院に求められる重要な使命であり、克服すべき課題でもと考えると考えます。

（演者抄録、文責 高瀬 育和）

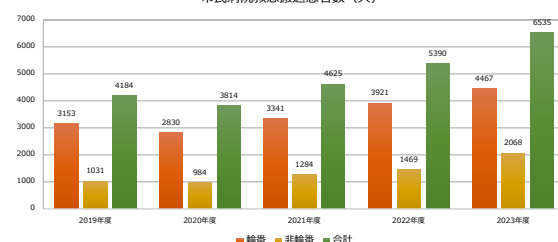
2023年度の取り組み

- ・「断らない救急」の実践
- ・病床管理：空床確保→**空床削減**への転換
- ・救急から**入院への業務フローの改善**
- ・**数値目標**の設定と実績モニタリング

富山市民病院「地域連携の会」

非輪番日の救急搬送はコロナ前から倍増

市民病院救急搬送患者数（人）



研修・講演・学習会のご案内

1. 地域連携症例検討会

※ 8月の地域連携症例検討会の開催はありません。

今回の開催は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

予告

日時：9月10日（火） 19:00～20:00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討（担当） 消化器内科
②ミニレクチャー（担当） 泌尿器科

2. 腎臓病教室

日時：10月31日（木） 13:15～15:30

場所：当院3階 301会議室

腎臓病教室に関するお問い合わせは、内科外来までご連絡ください。

3. 糖尿病研究会

日時：8月15日（木） 17:45～18:30

場所：当院4階 403号室

テーマ：しっかり学ぼう 糖尿病の基礎知識

講師：内科医師 浅野 彰子



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

精神デイケア科へようこそ

作業療法士 藤井 詩穂

精神科デイケアは、心の病気を持つ方が様々なプログラムを利用しながら、生活や社会に必要な力を身につけるリハビリの場です。日中の一定時間（デイケア6時間、ショートケア3時間）通所し、同じ病気や悩みをもつ人やスタッフと過ごします。医師、看護師、精神保健福祉士、公認心理師、作業療法士の専門スタッフが運営しています。

【対象となる方】

- ・安心できる環境で、日中過ごす場所をお探しの方
- ・楽しめる活動を通して、仲間づくりがしたい方
- ・コミュニケーションやマナーについて学びたい方
- ・働く前の準備段階として、心身ともに自信をつけたい方
- ・様々な作業活動を通して集中できる時間を作りたい方
- ・自分の病気について学び、再発防止のための対処法を身につけたい方
- ・簡単な筋トレ、有酸素運動で気軽に体力づくりを楽しみたい方



上記は一例です。

利用者さんの声にじっくりと耳を傾け、これからの生活に希望を持つことができるような支援をしたいと思っています。

通院先は変更せずに当院デイケアのみの利用が可能です。自立支援医療費制度が利用できます。見学は平日10時～16時に受け付けていますので、どうぞお気軽に精神デイケア科までお問い合わせください。

血糖コントロールに係る薬剤投与関連の特定行為実践

糖尿病看護特定認定看護師

東病棟7階 金盛 佐紀子

糖尿病は慢性疾患であるため、糖尿病をもつ患者さんを生活者（糖尿病を持ちながら生活する人）としてとらえ合併症の発症や進行を阻止し、その人らしく健やかな生活を継続できるように、生涯続くセルフケアや療養生活を支援することが大切です。

私は糖尿病看護特定認定看護師として、糖尿病をもつ患者さんがその人らしく生活していくことができるように、各病期の身体的・心理的・社会的な側面をアセスメントし患者さんとそのご家族を支援しています。

具体的には、週2日院内ラウンドを行い糖尿病をもつ入院患者さんの血糖コントロールのため、適時にインスリン投与量の調整などを行っています。早期に介入することで低血糖や高血糖を是正し、療養生活の質の向上を図ることができます。

患者さんのベッドサイドに行き、全身状態の観察や患者・家族の生の声に耳を傾けることの重要性を実感しています。病態判断や臨床推論を重ねることで身体に何が起こっている

のかをより深く考えるようになり、それまで気づかなかったわずかな症状の変化を見逃さないようになりました。チームカンファレンスでは、医師の思考過程を理解しながら治療やケアの方向性について意見を伝えています。

今後同じ資格を持つ仲間がもっと増えて一緒に働けることを楽しみにしています。



医師とのカンファレンスの様子



病棟ラウンド

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

8月

科 名	医師名	不 在 日
内 科	野 村 智	2日、20日
	水 野	14日
	山 田 和	6日、27日
	進 藤	16日、23日
	高 嶋	16日
外 科	佐々木	27日、28日
	馬 渡	13日、15日
	名 倉	22日
	竹 中	19日
	久 野	5日
小 児 科	和 田 拓	8日、9日、21日、22日、23日
眼 科	山 田 芳	9日
	村 上	2日、9日
耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	14日、15日
	児 島	7日、8日
脳神経外科	山 野	9日
形成外科	宮下松	5日、6日、7日、8日、9日

科 名	医師名	不 在 日
整 形 外 科・関節再建外科	重 本	9日、26日
	岩 井	1日
	岡 本	2日、19日、23日
	羽 土	29日
産 婦 人 科	長谷川徹	14日、15日、16日
	田 中	29日
麻 酔 科	本 田	2日
	高 木	6日
精 神 科	長谷川雄	28日、30日
呼吸器・血管外科	湖 東	28日
	土 岐	15日、16日
歯 科 口 腔 外 科	寺 島	1日、2日
	朽 名	13日、14日、15日、16日
泌 尿 器 科	吉 田 司	13日
	野 村 佳	13日、14日、15日
皮 膚 科	東	30日
	服 部	16日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

多くの大手スマートフォンメーカーから新モデル携帯が次々と発表されています。特に注目を集めているのは、Appleの最新iPhone、SamsungのGalaxyシリーズの新モデル、そしてGoogleのPixel新機種です。これらの新しいスマートフォンは、より高性能なカメラ機能、AIを活用した便利な新機能、そして高速な5G通信対応が特徴です。また、環境に配慮したリサイクル素材の使用や、省電力技術の向上も大きなポイントです。新機種の発売に伴い、各メーカーはお得なキャンペーンも実施中で、多くのユーザーが注目しています。この機会に、皆さんも新しいスマートフォンを手に入れて、最新のテクノロジーを体験してみたいかがでしょうか。私は、来年度の最新iPhoneを狙っています（笑）

看護部 村井 純子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

